サッカー少年 ますます夢中

関学大生が児童指導

関西学院大学サッカー部の学生らが、小学生を指導するイベントが1日、西宮市の同大グラウンドで開かれた。近隣4小学校から約220人が参加。学生トップクラスの選手が子どもたちにサッカーの楽しさを伝えた。

関学大の卒業生らでつくる体育会同窓倶楽部が、西宮市の「スポーツクラブ21」と協力して初めて開催。サッカー部はJリーグ選手も輩出する強豪で、レベルの高い学生と接することで、小学生がさらにサッカーに打ち込むきっかけにしようと企画した。

練習には、甲東、上ケ原、上ケ原南、広田小の少年サッカー少年が参加。学生から指導を受けながら、パスやシュート練習、ミニゲームなどに取り組んだ。上ケ原小3年生の向条隆盛君(8)は「ボールの奪い合いをしたのが面白かった。大きくなったらあんなふうになりたい」と学生選手のプレーに目を輝かせた。

関学大サッカー部の4年、野田拓磨さん(21)は「子どもと接することで、純粋にサッカーを楽しむことを思い出させてくれた」と喜んでいた。

(黒田耕司)

学生から指導を受け、サッカーを楽しむ小学生ら＝西宮市上ケ原一番町